

一般質問Q&A

- 今後の勝山市政への市長の思いについて
- 中央公園の有効活用について

市民の会
高間清一
議員



問 市長の公約でもある未来志向のまち勝山に向かって、

- ・ 市民優先
- ・ 安全安心快適な住環境
- ・ 必要な整備、ふるさとを守る
- ・ 国や県への働きかけ、市民参加の稼げる町勝山

この4本の柱を中心に頑張ってきたと思うが、まだ1年しか経っていない。今後、新しい町勝山を目指してどのようなことをやっていきたいのか。

答 市立中学校再編と県立勝山高校との連携など教育環境の整備、恐竜博物館のリニューアル、高速交通体系の整備を見据えた観光の産業化、中山間地の住環境の維持と持続可能な農林水産業支援、上下水道や市道を含む公共施設の効率的運用、少子高齢化に対応した福祉体制の見直し、区長会等地域の方々の対話を通じた地域自治の推進等に力を注いでいきたい。来月4月からスタートする第6次勝山市総合計画を推進し、市民と一緒に新しい勝山を創っていききたい。



問 教育会館、市民会館でのイベントや催し物など数多くの行事が行われているが、駐車場が狭く、無いと言ってもいいくらいの状況である。そこで、中央公園の一部を駐車場にはどうか。

答 教育会館や市民会館でのイベントや催し物が行われる際に、駐車場が不足している課題は認識している。中央公園を再整備する際には、市民のための公園、特に市内の子供たちがわくわくするような楽しい公園を目指し、ゆめおーれ勝山の広場のようなコンクリート舗装等多目的に活用できるエリアを整備し、駐車スペースの確保を検討していきたい。

一般質問Q&A

- 中学校再編(案)について
- 勝山市の名産品の活用について

市民の会
富士根信子
議員



問 新中学校建設には、施設を活用する生徒の教育活動主体の考え方の議論・体育館とグラウンドがいらぬ明確な理由を、教育課程編成上の観点から説明していただきたい。

答 中学校再編計画(案)の主眼とするところは、生徒数の減少で生じる様々な問題を学校の再編統合によつて改善し、生徒をしつかり育むことができる新しい中学校の実現を目指すこと。加えて、中高の併設・連携で中学生の多様な能力をより高め、勝山高校の活性化・魅力向上も図る相乗効果を目指すものである。学校施設の整備にあたっては、先生や生徒にとつて中高併設の利点も活かした教育や活動が十分できるよう、施設の機能や配置、動線などを工夫するが、高校施設の共用利用や近隣市有施設等の有効利用も含めて対応していくべきと考えている。

その中で、体育館・グラウンドがいらぬ明確な理由としては、雨等で体育館のみで体育の授業を行う場合を想定したときに、勝山高校のように合同クラスで授業を組み入れれば、カリキュラム編成は可能で、ジオアリーナも含めれば、より柔軟な対応ができると考えている。グラウンドでの体育の授業も、長山公園グラウンドも含めれば十分可能と考える。部活動でも、高校の2つの体育館とジオアリーナ、高校グラウンドと長山公園グラウンド、武道場・弓道場、主に芸術・文科系の部活動の場となる中・高の校舎、必要に応じて市営テニスコートや成器西小学校の施設等を活用すれば、各部活動を振り分けることが可能であると想定している。中高の先生方も相談し、工夫・調整をしていきたい。

問 勝山ブランドのための商品開発と知名度を広げるための宣伝の援助はできないか。婚姻された夫婦、お子さんの誕生に勝山産の繭を使用したシルクソープを贈呈してはどうか。

答 ゆめおーれ勝山では、シルクソープ以外にも絹織物と関係する市内で製造された商品が販売されている。これらの品を繊維のまち勝山の名産品として記念品への活用について検討していく。